

平成30年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	③	学校名	奈良養護学校
----	---	-----	--------

1. 取組名 「地域づくり実習」を通して学んだこと

2. 活動内容

この授業は、水曜日午後の授業である「社会参加学習」の実習における取り組みです。7月に2日間、11月に3日間、それぞれの学習グループが終日通して、実習に参加しました。

「フルナーラ」、「ヘルマンハープの会」という団体の方が来校されました。「フルナーラ」は、フルートなどの演奏を聴かせていただきました。生徒の耳元まで近づいていただき、優しい音色を楽しむことができました。「ヘルマンハープの会」は、ヘルマンハープの演奏の他、一緒に合奏もすることができました。今年度は生徒ひとりひとりに対して、1つずつの弦を張った手作り楽器を作成し、マンツーマンでかかわっていただきました。

3. 成果と課題

今年度は、生徒ひとりひとりの実態、例えば、車いすの座位の姿勢、手の動き、視線の合わせ方を十分考慮して、個々の手作り楽器を作成しました。生徒もリラックスして楽器に向き合うことができました。また、楽器と向き合えることにより、合奏していただいたヘルマンハープの方とのかかわりもよりスムーズにできた感じがしました。

しかし、せっかく作成した自作楽器ですが、なかなか大きな音を出すことができないので、次年度はもう少し音を響かせたいと思います。また、この2つのグループとのかかわりを大切にしながら、新たなグループとの出会いも探っていきたいです。

4. 次年度に向けて

相手の音楽を聴かせていただくことだけでも素敵なことですが、聴かせていただく生徒も同じ空間で音を奏でられるということは、よりよいコミュニケーションを生んだと思われれます。

